

# 進路通信

NO. 1

令和6年7月19日  
東京都立調布特別支援学校長

中村 由美子  
進路地域部

## たくさんの「ありがとう」で、自信を付ける夏にしましょう

今年の夏休みは、暦の関係で例年より長くなります。御家族で過ごしたり、友人と外出したり、放課後デイサービスに参加をしたりするなど、充実した日々にしてほしいと願っております。

さて、本校の中学部を卒業された保護者の方々から、「あっという間の3年間だった」という話を聞くことがあります。高等部に進学すると、進路先見学やインターンシップ、現場実習など、進路に関する行事が多くなり、より「将来の仕事や暮らし」をイメージする機会が増えます。仕事をする上では、誰かから褒められるというよりは、「できて当然」という視点で見られるようになってきます。

一方で、小・中学部の段階で「将来仕事をする」ということをイメージすることは、なかなか困難です。一番身近な御家族の方からの「ありがとう」が、お子様にとっては大変励みになります。洗濯物を干す、たたむ、お風呂を洗う、食器を洗う、下膳をする、机をふく、・・・等々、できること、一生懸命に取り組んでくれたことに、「ありがとう」と伝えることで自信につながります。たくさんの「ありがとう」で自信を付け、9月に少し大きくなった皆さんに会えることを楽しみにしております。

## キャリア教育の取組

### 小学部6年生「郵便局をひらこう」

生活単元学習で校内郵便局の学習を行いました。事前学習として調布市役所前郵便局へ見学に行き、郵便局の仕事について聞いたり、ハガキがどうやって届くのかを勉強したりしました。校内にポストが設置されると、先生や友達同士の手紙のやり取りが始まりました。手紙に1枚1枚消印を押す、切手の色で仕分ける、宛名や学年を見て仕分ける、学年用ポストに配達に行くという仕事を全員で分担し、郵便屋さんになりきって郵便局の仕事をすることができました。

### 中学部3年生 就業体験

5月8日（水）から開始し、3週に分けて就業体験を行いました。今年度は「しごと場大好き（作業所）」・「オーケストア調布店」の2か所で行いました。「職業・家庭」の授業で写真や動画を見て各事業所での仕事の様子を知り、イメージを膨らませる等の事前学習を行いました。

しごと場大好きでは、くみひも作業を行いました。オーケストアでは店舗に出て、商品の品出しやバックヤードで買い物かごの消毒、レシピカード切りなどを行いました。

緊張感をもち、初めての場所で初めての仕事にチャレンジする中学部3年生はとても立派でした。